

令和5年度 学校運営連絡協議会 実施報告

1 組織

- (1) 東京都立清瀬特別支援学校 学校運営連絡協議会
- (2) 事務局の構成
副校長、主幹教諭（教務主任兼務）＝事務局長 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務担当）、主幹教諭（小学部担当）、主幹教諭（中学部担当）、主幹教諭（生活指導担当）、主幹教諭（相談支援・進路キャリア教育担当）、計8名
- (4) 協議委員の構成（敬称略）
 - 中西 郁 （十文字学園女子大学 教授） 評価委員長兼務
 - 岩澤 寿美子 （清瀬市子どもの発達支援・交流センターとことこ 園長） 評価委員兼務
 - 四王天 正邦 （横浜市教育委員会 教育委員）
 - 水野 恵美子 （清瀬市立清瀬第三小学校長）
 - 谷口 雄磨 （清瀬市立清瀬小学校長）
 - 吉田 有子 （清瀬市立清瀬第七小学校長）
 - 井上 隆 （清瀬市立清瀬第三中学校長）
 - 佐藤 明子 （清瀬市立清瀬中学校長）
 - 内田 圭一 （東京都立清瀬高等学校長）
 - 守屋 光輝 （東京都立東久留米特別支援学校）
 - 柿添 信作 （NPO 法人 きよセラボ 代表）
 - 谷口 薫 （本校 PTA 代表） 評価委員兼務 計12名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和5年6月23日（金）内部委員8名、協議委員6名
授業公開、協議委員委嘱、協議委員・評価委員紹介
学校経営計画、本校の現状と課題等説明、意見交換
 - 第2回 令和5年10月6日（金）内部委員8名、協議委員10名
学校経営計画中間報告、協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
 - 第3回 令和6年1月26日（金）内部委員8名、協議委員5名
学校評価アンケート集計・分析結果報告、評価委員会からの助言・提言
次年度に向けた課題の確認
- (2) 評価委員会の開催日、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和5年6月23日（金）評価委員2名、事務局2名
学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討
 - 第2回 令和5年10月6日（金）評価委員3名、事務局2名
学校評価アンケート内容の検討
 - 第3回 令和6年1月26日（金）評価委員3名、事務局2名
学校評価アンケートの結果・分析報告と学校への助言・提言内容の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) アンケート調査の対象・規模・回収率（実施時期：11、12月）
 - 保護者アンケート 対象：244人 回収：190人 回収率：78%
 - 児童・生徒アンケート 対象：244人 回収：239人 回収率：98%
 - 教職員アンケート 対象：94人 回収：94人 回収率：100%
 - 地域住民、地域関連団体アンケート 対象：199人 回収：24人 回収率：24%
- (2) 主な評価項目
 - ・保護者アンケートは、前年度の内容を一部整理して実施した。「学校全般」「学習指導・キャリア

ア教育」「副籍・進路指導・生活指導」「進路・キャリア教育」「保健・給食」「教員の働き方改革」「安全対策」「その他取り組み」の6項目は変わらず、設問を28問から26問（1問記述式）に整理した。回答は「あてはまる」「ややあてはまる」「あてはまらない」「わからない」の4件法で実施した。今年度の学校経営計画に基づく取り組みを確認する質問項目を取り入れるとともに、評価委員の意見を取り入れ、項目に関する取組が分かるよう取組例を示した。

- ・児童・生徒アンケートは、例年通りの内容で実施した。児童・生徒の障害認知特性に応じてアンケートに回答する際に、教員による支援を行った。

4 評価結果の概要

(1) 保護者アンケートから

- ・今年度は保護者アンケートの回収率が78%であった。過去数年間の保護者のアンケートに関しては約70%前半ぐらいの数値で推移していることもあり回収率は例年並みである。昨年度に引き続き、Formsを全面的に活用した。昨年度は紙での回答も併用したが、今年度は、全ての保護者がFormsでの回答となり、事務局の集計作業の効率化を図ることができた。
- ・学校評価の保護者アンケート全26項目の中で、肯定的評価が70%以上の項目は、24項目であった。内半数の12項目については、肯定的評価が90%と保護者の学校に対する評価は、総じて高い評価を得た。特に児童・生徒の教育相談に関する項目や教員の対応・接遇に関する項目は肯定的な評価が99%と高く、学校の丁寧な対応について高い評価を得た。
- ・肯定的評価が70%以下の2項目についても「特別支援教育のセンター的機能の充実」「教員のライフワークバランスの推進」両項目とも肯定的評価は69%と高い評価を得ている。（両項目とも不明という評価が30%を超えており、実質上は肯定的な評価と言える）
- ・昨年度数値が低かった項目について、肯定的な数値となっており、学校評価の結果を受けて、今年度重点的に取り組んできてきたことに成果が表れている。
- ・校長時事通信、各種通信やホームページでの学校の取組を適時に情報発信をしたことは、肯定的な評価となった。
- ・肯定的な意見が低い「人権」は、感染症対策や仮設校舎移転で来校する機会が減り、学校の様子が見えなく回答ができないこと、設問の取り組み例示が分かりづかったことが原因と考えられる。また、「安全対策」、「地域交流」は、仮設移転に伴う不安や心配が数値に影響していると考えられる。
- ・数値が低い項目では、不明（分からない）の数値が高い。両者の関係性を検討する必要がある。また、「分からない」という回答項目では、質問の内容が本当に良いか、悪いか分かりにくくなる。「分からない」という回答項目を削除ことも検討する必要がある。
- ・次年度は、より回収率が上がるように質問事項や取り組み例示の見直しを行い、回答しやすいアンケートの作成及び実施に取り組んでいくようにする。

(2) 児童・生徒アンケートから

- ・「好きな授業」では、実技が主の「保健体育」、「音楽」、「英語」、「図画工作」・「美術」と並び「国語・算数」もあがっている。児童・生徒にとって「分かりやすい」授業の構築が、学習に対する興味・関心を引き出し好きな授業につながっていると推察される。

(3) 地域住民・地域関連団体アンケート結果から

- ・仮設校舎に移転して、学校に隣接する地域の住民120件にアンケートを配布した。回収率は低かったが、地域住民からの要望や温かい励ましの言葉などを具体的に聞くことができた。要望の多かった登下校や授業時の騒音や学校周辺の美化については即時に対応することができた。仮設校舎の地域との関係やつながりを広め、開かれた学校を目指すため、次年度は地域交流を充実させていく。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した次年度に向けた取り組み

(1) 児童・生徒の実態に応じた教育内容・実践の更なる充実

- 学習指導要領等に基づいた指導
 - 法令、学習指導要領、施策、学校経営計画等に基づいた指導
 - 外部専門員の指導・助言等の根拠に基づいた指導
 - 授業アドバイザー・臨床発達心理士・タスク・クレメント・OT・PT・ST・清掃・木工・就労支援アドバイザー等の指導・助言を生かした指導
 - 本人のニーズ、保護者のニーズに基づいた指導
 - 個別指導計画に基づく指導
 - 連絡・連携・意思の疎通を行い、共通理解に基づく指導
 - 人権尊重や生活年齢に配慮した指導
 - いじめ対策の徹底と未然防止
 - 子供たちの呼称「さん」づけ。丁寧な言葉遣いによる指導
 - 性加害にならない指導「不必要な接触」「連絡先交換」「密室」
 - 本校の今までの取り組みの成果を生かした指導
 - ICTを活用した効果的な指導
 - キャリア教育の視点を入れた指導
 - 強度行動障害の研究の成果を生かした指導
 - アセスメント生かした指導
 - 情報共有に基づいた一貫性・系統性のある指導
 - 確実な引継ぎによる、一貫性・系統性のある指導
 - 組織として情報共有を行い、連携を図った一貫性・系統性のある指導
 - 教員の専門性の向上
 - 校内研修の充実と研修成果の活用
 - 若手教員の育成、中堅教諭の発掘・育成
 - OJTによる学校全体の教育力の向上
- (2) 安全・安心な学校づくりの徹底
- 安全教育推進校として安全教育の推進
 - 防災安全・交通安全・生活安全の充実
 - 移転後の安心・安全な学校環境の整備
 - けがや遊出防止に向けた施設・設備面の安全管理の徹底
 - 登下校・スクールバス内での安全管理の徹底
 - 行方不明・けが等の防止
 - アレルギー・医療的ケア・発作・感染症に関する安全管理の徹底
- (3) 保護者のニーズに応える情報提供の充実
- 保護者の知りたいニーズに応える情報提供
 - 進路に関する情報、研修会等の情報、地域の取り組みやイベントの情報、学校の取り組みに関する情報、児童・生徒個々の取り組み状況の情報、早めの情報提供
 - 保護者の不安感を払拭する情報提供
 - 事故や感染症等に関する情報、副籍制度に関する情報、学校での児童・生徒の状況に関する情報提供（学習状況・けが・いじめ・発作・他害・自傷・個人情報の管理）

6 協議委員のアンケート結果

今年度は協議委員からも保護者と同じアンケートを実施し、12人中9人の委員から回答を得られた。協議委員にとって授業見学や副籍交流をとおして取り組みの様子が明瞭なものについては肯定的意見を占めたが、活動が見えない項目については「分からない」という回答が多くなった。

7 職員連絡会及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 今年度は、職員連絡会への参加は予定変更があり実現できなかったが、令和6年2月

14日（水）に改めて時間を設定して評価委員長から提言をいただいた。
【成果】 学校運営連絡協議会委員長より、今年度の評価と次年度に向けた課題をいただき、学校の課題を具体的に伝えていただくことで、教職員の意識を高めることができた。